

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和6年1月30日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	磯沼建設株式会社
所在地	〒035-0063 青森県むつ市若松町2番45号
代表者役職・氏名	代表取締役 ・ 磯沼 慎一郎
担当者連絡先	電話：0175-22-3281
	メール：isonumakensetsu@isonuma.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.isonuma.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和9年に創業した建設業者であり、青森県むつ市烏沢海岸侵食対策の工事や青森県風間浦村漁港整備の公共工事及びその他、民間請負事業を展開している。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	環境にやさしい材料、重機、社用車等への転換や取組みを行い、温室効果ガスの排出量を削減する。	温室効果ガス排出量 【現状】372,418Kg-Co2/年 【目標】10%削減
□環境 ✓社会 □経済	技術者の新規採用（男女不問）や、主要資格(免許)の新規取得	新規採用者数 【目標】2人/年
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社内に相談窓口を設け、働きやすい環境を提供する。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	週休2日(現場閉所)を実施、月20時間以内を努力目標としている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	現場単位でKY(危険予知)運動を毎朝実施し、月一回店社安全衛生管理者が社内パトロールを実施。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	2時間単位での時間休や人材に合った勤務時間、人員配置を実施。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	随時セミナー、研修開催の広報をし、資格取得補助を会社負担で実施。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	青森県健康経営事業所認定 むつすこやかサポート事業所認定 協会けんぽ「健康宣言」			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	適切な産業廃棄物の処理。 機密文書以外のコピー紙を再利用している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	【予定】 照明器具のこまめな節電、重機、車のアイドリングストップを実施。							7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	【予定】 重機、社用車のエコカーへ全体の50%を転換。 灯油利用の暖房器具を非常用とし、常用にエアコンに転換。							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	安全データシート(SDS)を基に化学物質のリスクアセスメントを実施し、リスク低減対策を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	事前に岩場、磯辺の生態系に悪影響を及ぼさないよう同環境先に生物を移動させ自然を保持する。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	飲料以外、井戸水を融雪に有効利用している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	【予定】 事業所等の屋上に太陽光パネル設置し脱炭素社会に貢献する。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	「顧客の要求に応える製品を提供する」を事業目標の基本とし、その中で環境により良い効果を選択しながらも、効率の良い事業展開を目指しています。																9	
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる								6					12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	漁港、漁協や周辺地域へ漁業継続の配慮と丁寧な説明と広報を実施。				4						9	11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	赤い羽根共同募金へ寄付。 青森県ふるさとの水辺サポーターへ参加。清掃活動等を毎年2回実施している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	土砂、玉石等の調達は地元県産とし、地域資源を活用している。									8	9		11	12	13			

